



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「キンカンの収穫量」と「酢の消費額」です。



キンカンの収穫量

検索



酢の消費額

検索



キンカンの収穫量

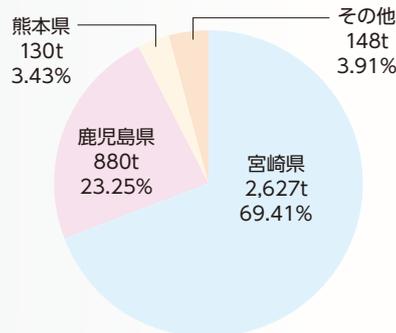
朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。風邪の予防にキンカンが効くのご存知ですか？柑橘系の中では最も小さく、皮ごと食することができるため、ビタミンC、ビタミンEが豊富で、古くからのどの痛みを伴う風邪などに生薬として利用されてきました。

キンカンは、生育に豊富な日照量を必要とするため、九州南部に生産地が集中しており、宮崎県が全国の収穫量の約7割を占めています。

原産地は中国の長江中流域で、日本には鎌倉時代から室町時代初期に伝えられたとされています。

金色の実をつけ、幸運をもたらす縁起物としておせち料理の甘露煮が有名なほか、先人の智慧を受け継ぎ、のど飴の成分としても活用されています。

キンカンの収穫量



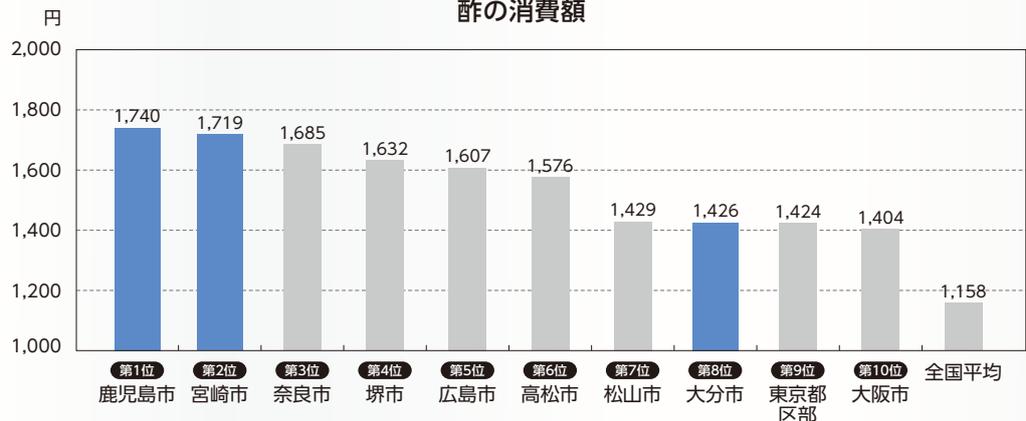
(出所:農林水産省「平成23年産特産果樹生産動態等調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

酢の消費額

酢の年間消費額を見ると、西日本の地域で多いことがわかります。古来より、酢を使うと食べ物が傷みにくくなることが知られており、特に気候が温暖な鹿児島や宮崎では、冷蔵庫のない時代から食べ物の保存性を高めるため、また暑い夏を乗り切るための調味料として酢が活用されており、現在でも全国1、2位の酢の消費地となっています。

江戸時代、鹿児島には佐渡金山を凌ぐ規模の金山があり、肉体労働を行う鉱夫などに配給され広まっていったと言われています。重労働による体力低下やストレスを防ぐためにも、酢は必需品だったのです。

酢の消費額



(出所:総務省「家計調査:平成25年都道府県庁所在地市別1世帯当たり支出金額(二人以上の世帯)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、四輪自動車が減産となった輸送機械が低下したものの、電子部品・デバイスが上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品、飲食料品がわずかに前年を下回りましたが、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

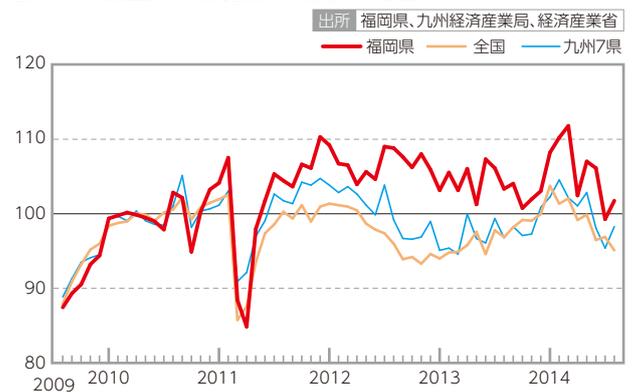
(森山 裕司)

1.生産活動 | 底堅く推移している

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.9と前月比2.5%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車が減産となった輸送機械が低下したものの、トランジスタの生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、底堅く推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

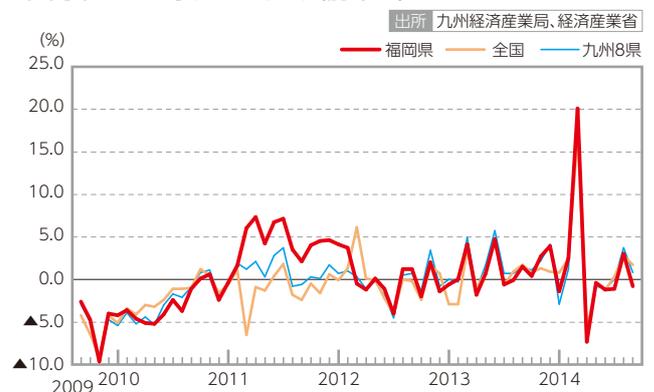


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

9月の大型小売店販売額は、前年同月比0.5%減の522億円となりました。

気温低下により秋物衣料に動きが見られたものの、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を下回っています。

■福岡県の大型小売店販売額(前年比)





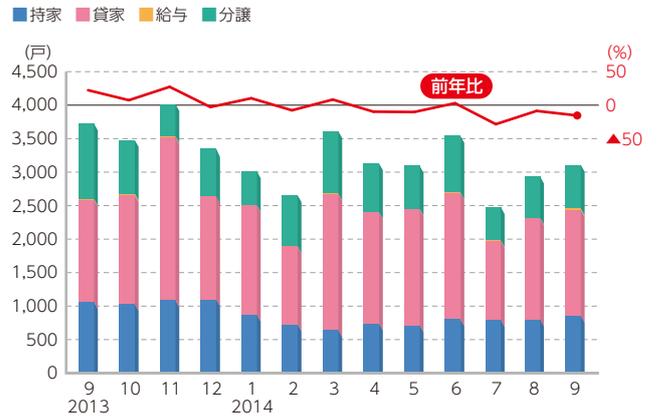
3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られる

9月の新設住宅着工戸数は、3,160戸と前年同月比16.5%減少しました。

「貸家」は増加しましたが、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」「分譲」が大きく減少しました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



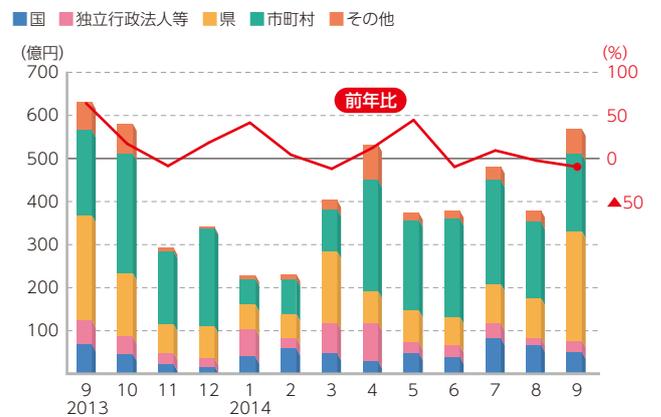
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比15.0%減の1,109件、金額が同9.9%減の579億円となりました。

発注者別では、ダム工事の大型案件があった「県」以外は大型案件に乏しく前年を下回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数は前年を下回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比10.0%減の36件、負債総額は約37億円となりました。

海運業で約21億円の倒産が発生したものの、負債総額、倒産件数ともに前年を下回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、主要指標である生産や個人消費が堅調に推移する等、持ち直しの動きが続いています。

生産は、スマートフォンや自動車向けの半導体が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、主力の飲食料品・衣料品ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、新設住宅着工戸数がわずかに前年を上回りました。

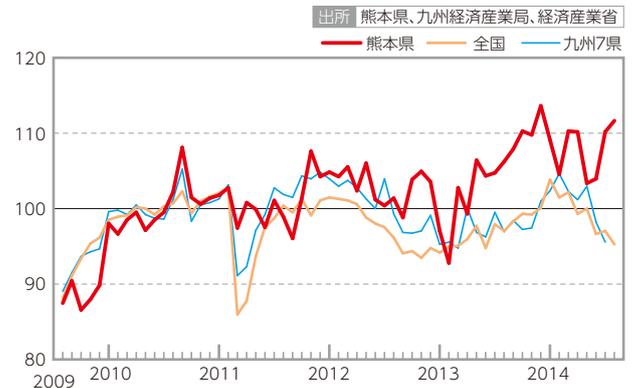
(森山 裕司)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は111.8と前月比1.4%上昇しました。

主要業種では、輸送機械が低下したものの、スマートフォンや自動車向けの半導体为好調な電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

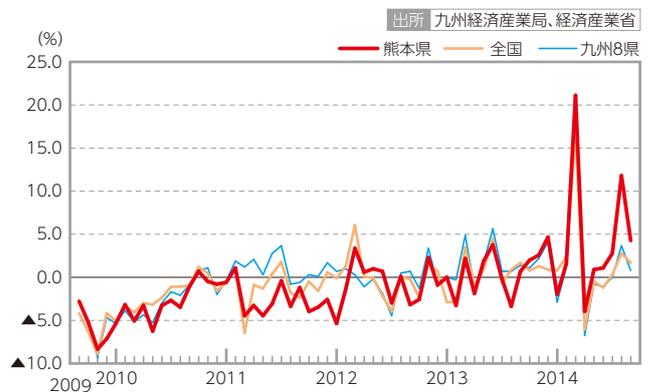


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

9月の大型小売店販売額は、前年同月比4.5%増の125億円となりました。

精肉や惣菜が好調な飲食料品が、前月に続き前年を大幅に上回りました。

■熊本県の大型小売店販売額(前年比)



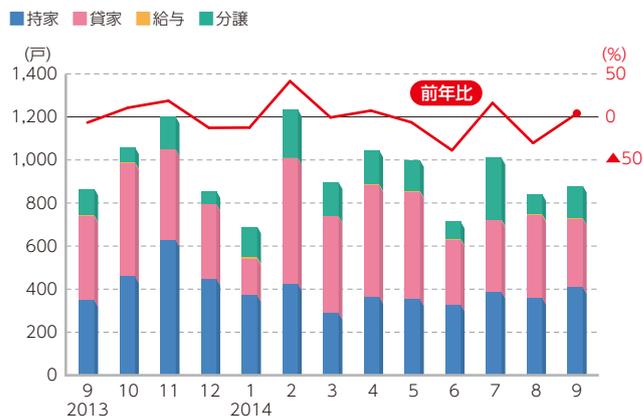
3.住宅建設 | 底堅く推移している

9月の新設住宅着工戸数は、894戸と前年同月比1.5%増加しました。

「貸家」は前年から減少したものの、「持家」「分譲」が前年を上回るなど、底堅く推移しています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.5%減の817件、金額が同25.5%減の250億円となりました。

最終処分場の大型案件があった「その他公共的団体」以外は、前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



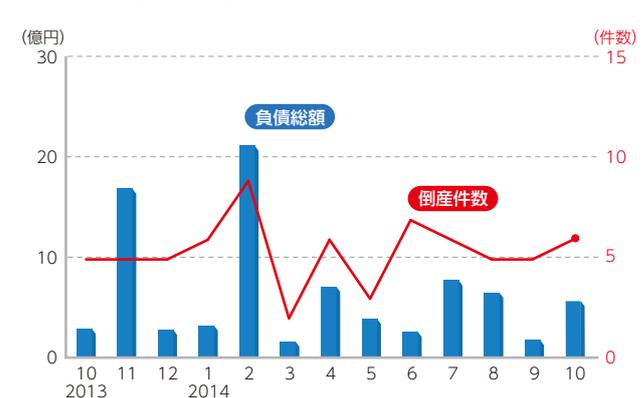
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数は低水準に抑制

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%増の6件、負債総額が約6億円となりました。

リサイクル業で4億円の倒産が発生しました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

長崎県の景気は、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、主要指標である生産の一部に弱さがあり、総じて持ち直しの動きに弱さが見られます。

生産は、電子部品・デバイスやはん用・生産用機械が低下する等、一部に弱さが見られます。個人消費は2ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、高級品に動きがあり、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、4ヵ月連続で前年を下回りました。

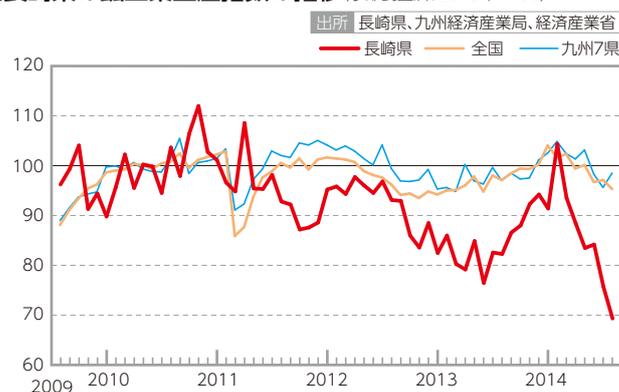
(下田 大氣)

1. 生産活動 | 一部に弱さが見られる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は69.3と前月比8.5%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下した他、ボイラーが減産となったはん用・生産用機械が低下する等、一部に弱さが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2. 個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.0%減の87億円となりました。

気温低下により、秋冬物衣料が好調だったものの、休日が前年より1日少なかったことが影響し、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。また、宝飾・貴金属などの高級品に動きがあり、全体では持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比)





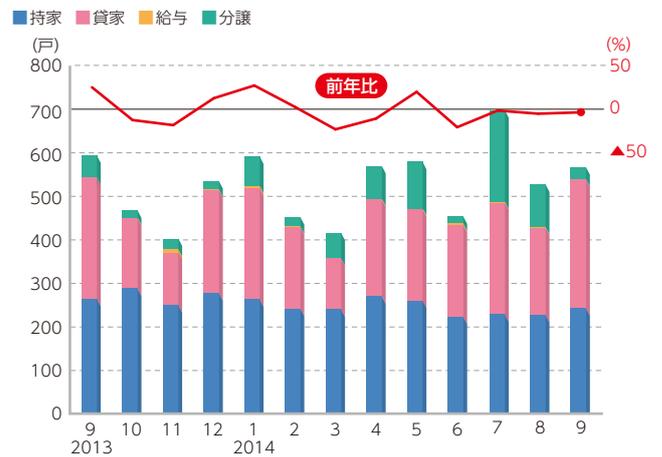
3.住宅建設 | 着工戸数は4ヵ月連続で前年を下回る

9月の新設住宅着工戸数は、585戸と前年同月比4.6%減少しました。

「貸家」や「分譲(戸建)」は前年を上回りましたが、「持家」や「分譲(マンション)」が前年を下回るなど、全体では4ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比23.8%減の439件、金額が同35.4%減の187億円となりました。

発注者別では、九州新幹線関連で大型案件があった「独立行政法人等」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 水産業で大型倒産発生

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が10件、負債総額が約90億円となりました。

水産業で30億円を超える大型倒産が2件発生し、九州における単月の負債総額では今年最大となりました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移している他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、化学や輸送機械が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、2ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は2ヵ月連続で前年を下回りました。

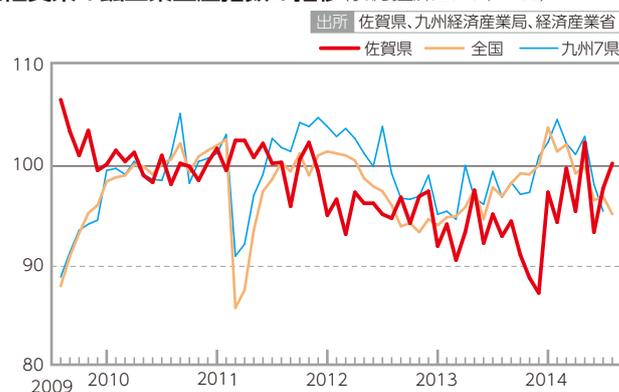
(下田 大氣)

1.生産活動 | 底堅く推移している

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.3と前月比2.6%上昇しました。

主要業種では、入浴剤や農薬の生産が増加した化学が上昇した他、車体部品が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

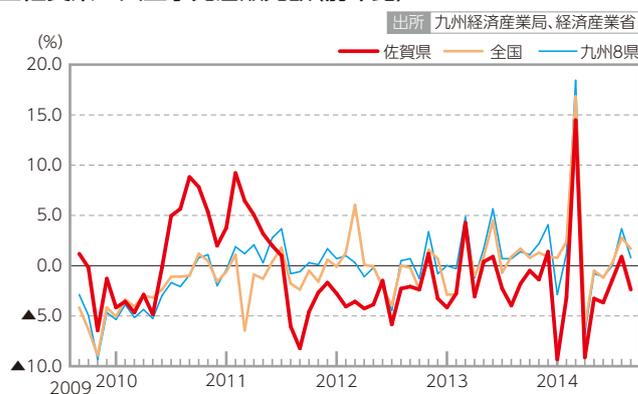


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

9月の大型小売店販売額は、前年同月比2.3%減の48億円となりました。

気温低下により、秋冬物衣料が動いたものの、休日数が前年同月より1日少なかったこと等を主因とし、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の大型小売店販売額(前年比)





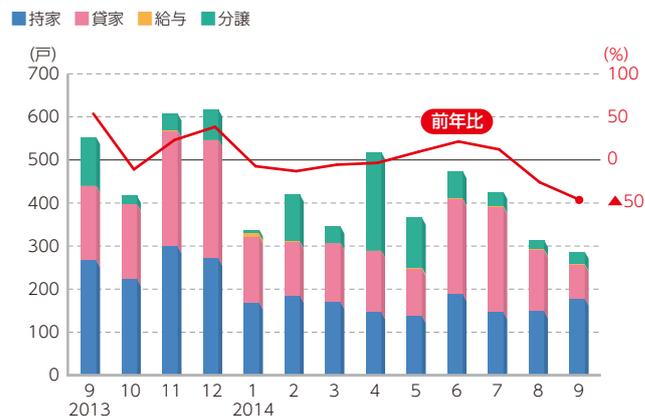
3.住宅建設 | 前年同月を大きく下回る

9月の新設住宅着工戸数は、291戸と前年同月比48.2%減少しました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建・マンション)」が前年を下回り、全体では2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



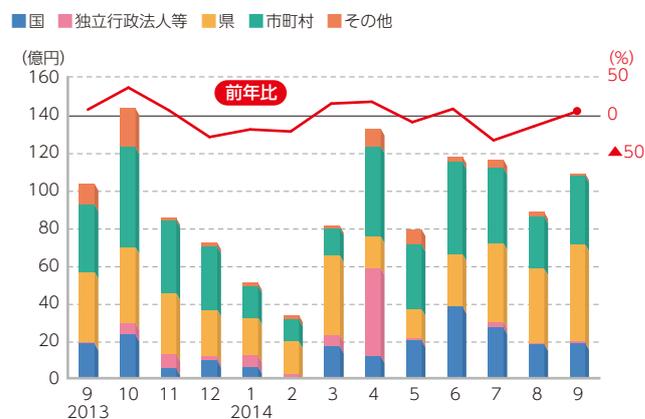
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.2%増の308件、金額が同5.3%増の111億円となりました。

発注者別では、空港整備の大型案件があった「県」や浄水場整備工事があった「市町村」が前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



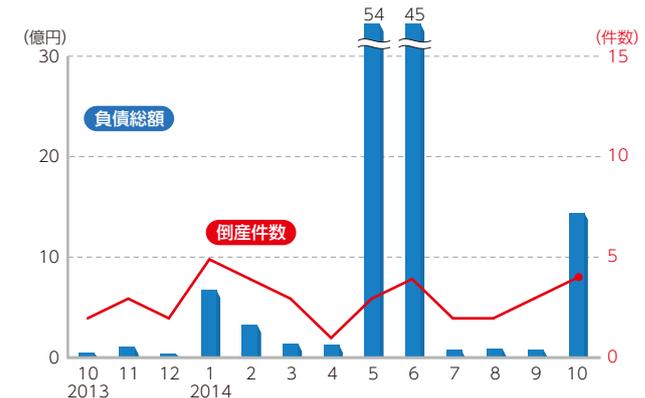
5.企業倒産 | 水産業で大型倒産発生

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の4件、負債総額が約15億円となりました。

水産業で負債総額14億円の倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、主要指標である生産で一部に弱さが見られるものの、個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、窯業・土石製品や電気・情報通信機械が低下する等、一部に弱さが見られます。個人消費は、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、5カ月ぶりに前年を上回りました。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.2と前月比0.6%低下しました。

主要業種では、農薬が増産となった化学・石油製品が上昇した一方、セメントの生産が減少した窯業・土石製品や、一眼レフカメラが減産となった電気・情報通信機械が低下する等、一部に弱さが見られます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

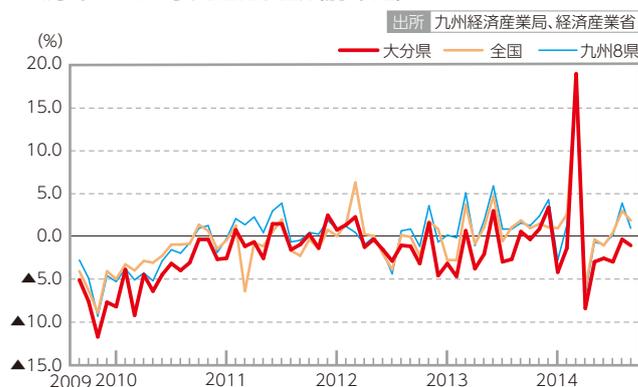


2.個人消費 | 底堅く推移している

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.3%減の87億円となりました。

気温低下により秋冬物衣料が好調だったものの、休日が前年同月より1日少なかったことが影響し、前年を下回りました。個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の大型小売店販売額(前年比)





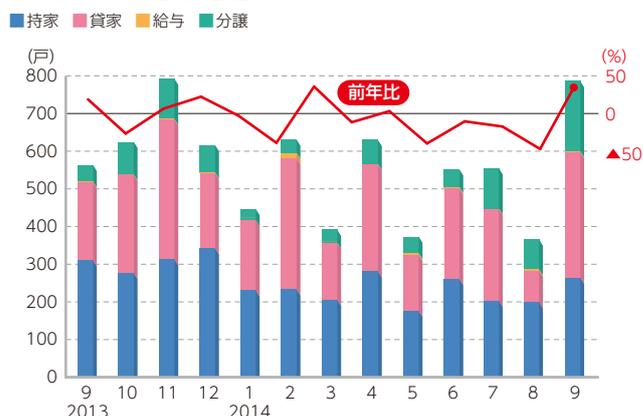
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.4%増の792戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回りましたが、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を大きく上回り、全体では5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



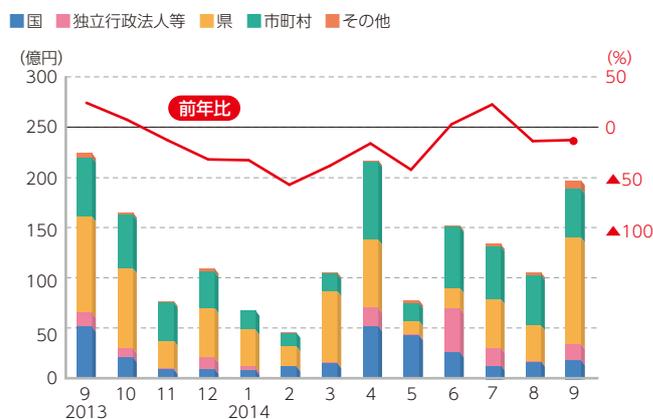
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.1%減の558件、金額が同11.9%減の199億円となりました。

発注者別では、東九州自動車道関連の大型案件があった「独立行政法人等」や、県庁舎耐震化工事の発注があった「県」が前年を上回ったものの、「国」「市町村」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前月を上回る

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40%減の3件、負債総額が約20億円となりました。

コンサルタント業で約20億円の大型倒産が発生し、負債総額は前月を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移する他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、電気・情報通信機械や電子部品・デバイスが前年を上回る等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、駆け込み需要の反動減が見られません。

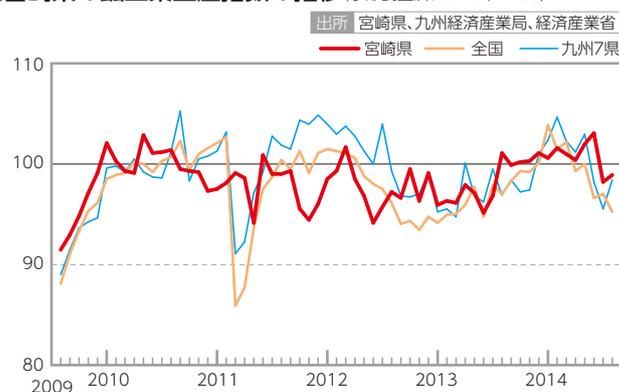
(松永 圭史)

1.生産活動 | 底堅く推移している

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.9と前月比0.7%上昇しました。

主要業種では、太陽光電池モジュールの生産が増加した電気・情報通信機械や、半導体が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

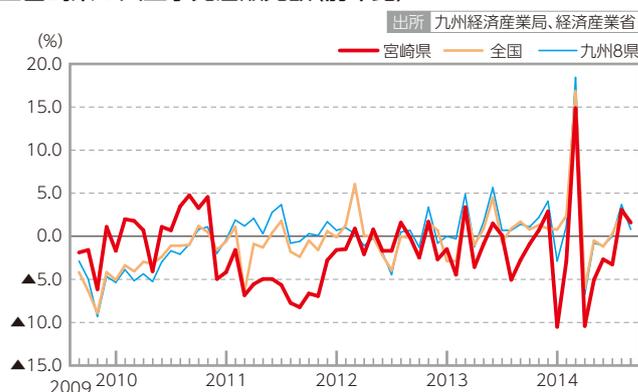


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.9%増の63億円となりました。

気温低下により秋冬物衣料が好調だった他、スーパーの出店効果もあり、前年を上回りました。個人消費は持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の大型小売店販売額(前年比)





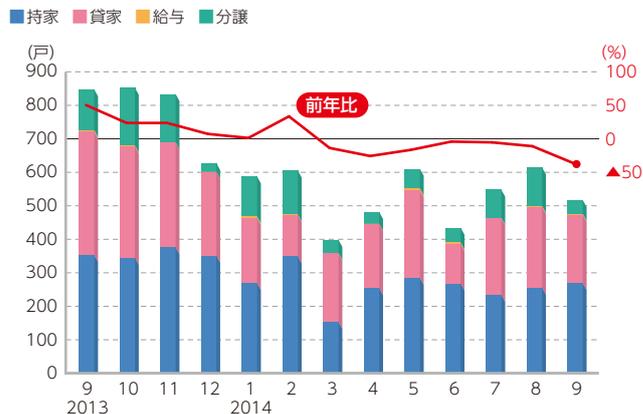
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

9月の新設住宅着工戸数は、521戸と前年同月比39.0%減少しました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



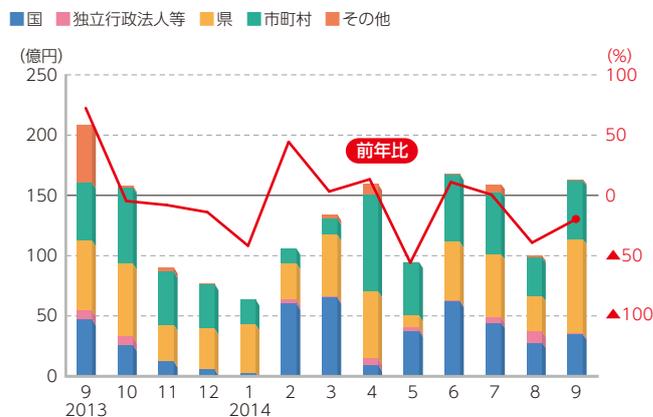
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.0%増の582件、金額が同21.7%減の165億円となりました。

発注者別では、植物園建設工事の発注があった「県」や、浄水場整備関連の大型案件があった「市町村」が前年を上回ったものの、「国」「独立行政法人等」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比37.5%減の5件、負債総額が約3億円となりました。

食品スーパー業で約1億円の倒産が発生したものの、負債総額は低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

鹿児島県の景気は、持ち直しの動きに弱さが見られます。

生産は、はん用・生産用機械や食料品が低下する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。個人消費は、主力の飲食料品・衣料品が前年を下回りましたが、基調としては持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

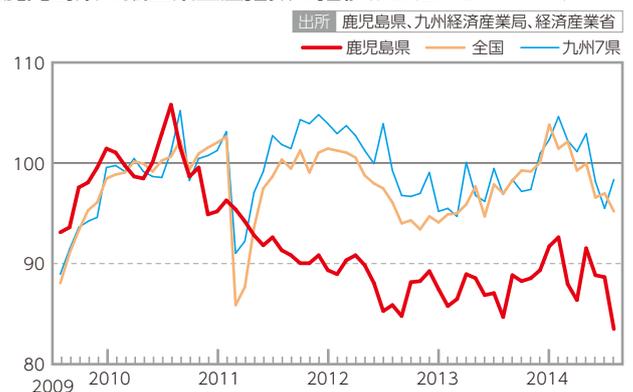
(森山 裕司)

1.生産活動 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は83.4と前月比5.9%低下しました。

主要業種では、はん用・生産用機械や食料品が低下する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

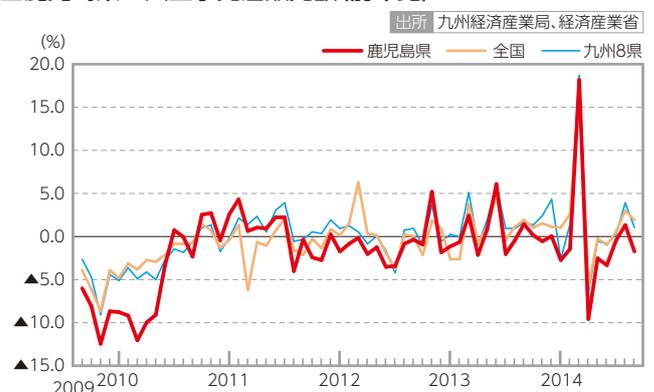


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

9月の大型小売店販売額は、前年同月比1.9%減の117億円となりました。

主力の飲食料品、秋冬物衣料の動きが鈍かった衣料品ともに前年を下回りました。

■鹿児島県の大型小売店販売額(前年比)





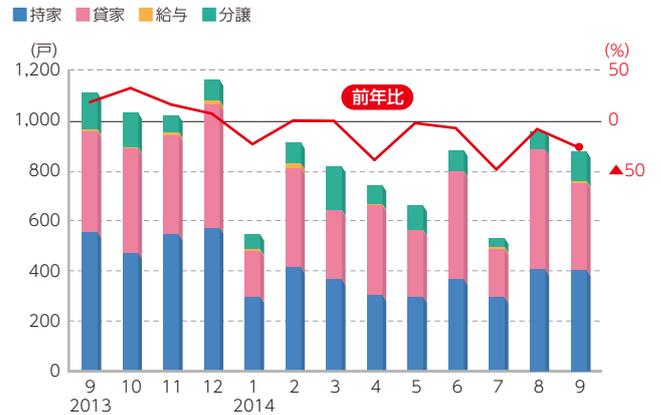
3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られる

9月の新設住宅着工戸数は、882戸と前年同月比21.2%減少しました。

全ての項目で前年を下回る等、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動が見られます。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



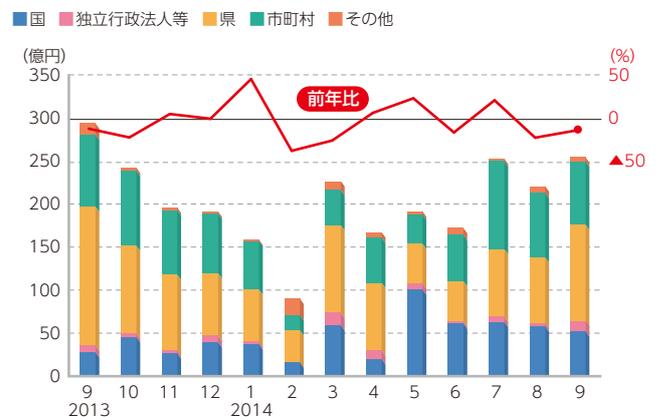
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

9月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.9%減の849件、金額が同13.4%減の256億円となりました。

発注者別では「国」と「独立行政法人等」が前年を上回りましたが、全体的に大型案件に乏しく、前年を下回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は4ヵ月連続で減少

10月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の5件、負債総額が約5億円となりました。

酒造業で約3億円の倒産が発生しましたが、負債総額は4ヵ月連続で減少しました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

